

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民の森保健休養施設	所管課	県有林課
所在地	南アルプス市上市之瀬1760 外	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年8月8日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県林業公社、平成18年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民の森保健休養施設設置及び管理条例		
設置目的	青少年その他の県民が恵まれた自然の中で緑に親しみ、人と自然との貴重なふれあいを体験する場を提供することにより、緑化思想の高揚及び林業知識の普及を図り、併せて県民の保健休養に資するため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	面積:953ha 主な施設:森林科学館284㎡、森林科学館分室129㎡、展望台24㎡、見晴らし台あずま屋1棟、菖蒲池あずま屋1棟、アヤマ平避難小屋1棟等		
主な業務内容	施設等の維持保全に関する業務 森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県民の森南アルプス市施設(ウッドビレッジ、グリーンロッジ等) 山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等) 山梨県立武田の杜保健養林(健康の森、鳥獣センター等)
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)	
利用者数	森林科学館利用者数	9,010	8,694	9,045	
	利用者数合計	9,010	8,694	9,045	
	目標値	12,000	12,500	13,000	10,000
	目標値設定の考え方	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の11%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の16%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の20%増)	H26～30年の指定管理者提案内容 (H24実績値の16%増)
	対23年度比	100.0%	96.5%	100.4%	111.0%
稼働率					

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	15,028,000	15,352,000	15,352,000	14,592,000
	その他	405,733	161,000	199,642	200,000
	収入合計(A)	15,433,733	15,513,000	15,551,642	14,792,000
支出	人件費	9,220,429	10,178,000	9,989,607	9,200,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	6,038,003	5,335,000	6,051,166	5,592,000
	(うち外部委託費)(B)	1,794,554	1,370,000	2,189,105	1,692,000
	支出合計(C)	15,258,432	15,513,000	16,040,773	14,792,000
収支差額(A - C)		175,301	0	489,131	0
外部委託比率(B ÷ C)		11.8%	8.8%	13.6%	11.4%
利用者一人当たりの経費		1,729	1,181	1,697	1,459

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～26年3月 実施方法:来園者、イベント参加者へのアンケート 回答数:259人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
館内展示	91.4%	8.6%	0.0%	0.0%
施設・設備管理	70.1%	29.9%	0.0%	0.0%
催物・事業内容	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%
パンフレット	78.1%	21.9%	0.0%	0.0%
職員の接客態度	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%
各項目の平均	86.9%	13.1%	0.0%	0.0%

利用者の意見	館内の展示やイベント企画において、アリヤコウモリ等地元の情報を発信するよう工夫した。その結果、施設利用者、イベント参加者から好評を得ることができ、特筆する苦情もなかった。
利用者の意見への対応	その地で体験できるテーマのイベントに人気があった。こうした取り組みを通じて、森林科学館の集客向上に貢献できたと感じている。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	計画通り実施した。また、老朽化した施設の修繕なども行った。	業務仕様書及び業務計画書どおり適切に維持管理が行われている。老朽化した施設の修繕等にも積極的に対応しており、評価できる。
運營業務	地元住民や関係団体、福祉施設等と連携し、公園施設や周辺環境の保全等に取り組むことができた。	8月は無休にするなど、利用者サービスの向上に努めた結果、夏期の来館者の増加に繋っており、評価できる。
自主事業	本年度は、「日本蟻類研究大会及び櫛形山のアリ展」を開催し、専門家だけでなく地元高校生等の研究発表等も行った。高い評価をいただくことができた。	全国規模の「日本蟻類研究大会」を新たに誘致した。また、地元の学校と協力し研究を行うなど、積極的な事業への取り組みは評価できる。
利用状況	2月の豪雪により休館を余儀なくされたことが影響し目標に達しなかったが、前年度比では104%と微増した。	目標値は下回ったが、豪雪の影響もあり、やむを得ないと判断する。その中でも前年度実績より増加している点は評価できる。
収支状況	2月の豪雪による除雪作業や指定管理の最終年度にあたり施設の修繕を行ったことで、約50万円の赤字となった。	概ね計画書どおりであったが、豪雪対応や事業最終年度に伴う施設修繕を行った結果マイナス収支となったことは、やむを得ないものと判断する。
利用者満足度	施設の特徴を活かしたイベント開催や展示、管理運営等、高い評価を得ることができた。	館内展示及びイベント内容を工夫し、「満足・十分」が86.9%、「不満足・不十分」がないなど、非常に高い満足度を得たことは、大いに評価できる。
運営目標の達成状況	H25 森林科学館利用者数 目標値 13,000人 実績値 9,045人 目標値に対し、約7割の利用であった。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	豪雪等の影響もあり、年間利用者数では目標に達しなかった。しかし、利用者数は昨年度、一昨年度を上回っており、また、夏休み期間中に充実した主催事業を集中させるなど、集客力を上げる工夫をしている。利用者の満足度も非常に高いことから、指定管理業務は適正に行われたと評価できる。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	前回指導事項であった参加しやすいプログラムの拡充について、学校の夏休み期間中に主催事業を集中させたり、飛び込みの参加も受け入れる等、柔軟な対応が確認できている。なお、(公財)山梨県林業公社の指定管理業務は、平成25年度で満了となった。	

7 管理体制(組織図)

